

キャンプ

リーダー研修

活動が最近
マンネリ気味で...

体験活動をするとき、
安全面が心配で...

地域の人を巻き込んで
やりたいけれど...

自然体験

安全管理

地域で子どもを対象
にした体験活動がし
たいけれど...

PTA活動を
考えたいけれど...

地域の体験活動を 応援します！

そうだ！青少年教育施設に聞いてみよう♪

青少年の家サン・レイク

少年自然の家

地域の体験活動支援事業 ～こんな活用事例があります～

CASE1：体験活動での安全管理について（講義・演習）



参加者の声

- 事業を行ううえでどんなリスクがあるかをここまで掘り下げて考えていなかったのがよい機会となった。
- 前からなんとなく行っていたことが、別の問題の防止となっているなど、違う視点から事業を見直すきっかけとなった。

- 海・川・山の体験活動での安全管理研修（海・川・山での危険、指導者の心得、危険な動植物、リスクマネジメント等）
- 実技指導（応急処置、救助器具の使い方等）
- 実地踏査（水底調査、監視ポイント、監視体制の確認等）
- 実施計画の見直し、助言など

CASE2：体験活動や自然体験活動の意義、子どもとの関わり方について（講義・演習・グループワーク）



参加者の声

- 子どもに限らず、高齢者にいたる全ての層に通じる基本的に大切なことだと思った。
- 客観的な国の調査に基づいた体験活動の意義について講義されていて、非常に納得できた。
- 自然体験活動の教育的効果にもふれていただき、主催者側の「ねらい・おもい」だけでなく、参加者の「挑戦・成長」にもつながることを知ってもらうことができた。
- 自然物に関する事項の詳しい説明が聞けて、新しい気づきを得ることができた。

- 体験活動の意義
- 自然体験活動の意義・内容
- 自然体験を行う際の留意点（指導者が大切にすべきこと）
- 子どもとの関わり方と支援者の役割を考える研修・グループワーク
- アイスブレイク・レクリエーションなど

CASE3：主催事業等の企画相談・実技指導、事業内容に合わせた研修（講義・演習）



参加者の声

- ・今後の事業の組み立て方や協力団体への声かけ、仕掛けの作り方などを活かしていきたい。
- ・地域の資源を活かしながら、子どもたちの自主性を伸ばす事業が実現した。
- ・打合せ時から、ねらいについて一生懸命考えてくださって大変助かった。
- ・実際に体験できイメージがわきやすかった。その場で色々と質問に答えていただき、勉強になった。

- 「こんなことをやってみたい！」の具現化
- 地域における体験活動の見直しへの指導・助言（ねらいの整理、ねらいを達成するための活動の精選等）
- 主催事業に向けた実技指導（炊飯活動の仕方、火の起こし方等）
- 主催事業に合わせた事前事後の研修 など

令和4年度 支援事業実績・満足度

実績数
13支援

ねらいに沿った内容であったか
(とてもよかった、おおむねよかった) **100%**

～事業実施までの流れ～



- ・活動がマンネリ化してるな～。見直しがしたい。
- ・リスクマネジメントについて研修したい。
- ・どうしても大人が手や口を出しすぎてしまって・・・。
どう関わればいいのかなあ。

まずは、電話で相談！！（随時受付中）

- ・困っていること、やりたいこと
- ・事前打合せ日、研修日確認
- ・今後の流れ

事業計画書＜様式1＞の提出

日程調整等

事前の打ち合わせ

研修当日（楽しく学びましょう！）

この事業
ここが使いやすい！

1：出張費など
費用負担なし！

2：研修内容・
研修形態や方法は
オーダーメイド！
(研修担当者の思い・
ニーズに合わせて
研修を行います。)

3：研修後に報告書など
の書類の提出なし！
(アンケートにご協力ください。)



令和5年度

地域の体験活動支援事業 実施要項

1 事業目的

- 地域における教育資源を生かした体験活動の普及啓発を図る。
- 子どもたちが、地元の人や自然と深く関わり、ふるさとへの愛着や貢献意識、実行力を高めるために、公民館等が学校や地域住民などの協力を得て行う宿泊や日帰りの体験活動を支援し、地域を担う人づくり推進の一助とする。

2 事業対象

- 公民館、コミュニティセンター、交流センター、まちづくりセンター、コミュニティ交流センター等
- PTA活動等

3 事業内容

- 公民館等が学校や地域住民などの協力を得て実施する日帰りや宿泊を伴うキャンプ、通学合宿等の体験活動に対して、関わる方の支援の在り方やプログラム内容などに支援、助言等を行う。
- 公民館等の職員研修や保護者説明会などにおいて、体験活動の意義や安全管理などについて研修を行う。
例：・事前担当者会、保護者説明会などで、体験活動の必要性や意義などについて話す。
・体験プログラムなどの相談に応じる。
・振り返りの会などへ出席し、次年度へ向けての助言をする。等

4 実施方法

- リーフレットを県内の公民館等、小学校に配付します。
- 県内を2ブロックに分け、東部・隠岐地区は青少年の家、西部地区は少年自然の家が担当します。
- 各施設からの出張支援として行います。但し、施設運営に支障のないところでの支援となります。
- 支援にあたっては、各地域の行政担当者、公民館等担当者に連絡し、内容によっては連携しながら実施していきます。
- 各施設からの出張等に関して、公民館等の費用負担はありません。
- 研修後に報告書などの提出はありません。アンケートにご協力ください。

5 お申し込み

- 通年で随時受け付けています。まずは、各施設に直接電話でお問い合わせください。
- その後、事業計画書<様式1>を提出してください。事業計画書は各施設ホームページからダウンロードできます。
- 事業計画書を元に、内容や事前打ち合わせ、研修日などについて担当者の方と相談しながら進めます。
- 支援時期(施設繁忙期)によっては対応ができない場合があります。その場合は、日程等調整をさせていただく場合があります。

お申し込み・お問い合わせ

島根県立青少年の家サン・レイク
〒691-0074 出雲市小境町1991-2
TEL : 0853-69-1316 FAX : 0853-69-1016
Mail : sunlake@pref.shimane.lg.jp

島根県立少年自然の家
〒695-0007 江津市松川町太田610
TEL : 0855-52-0716 FAX : 0855-52-0707
Mail : syonen@pref.shimane.lg.jp